

「地域公共交通コーディネーター・ プロデューサー養成プロジェクト」 関連のお知らせ

2026年1月9日
代表:加藤博和(名古屋大学)

本講座 カリキュラム構成

必修

<ベーシックコース>:10~1月>フィールドスタディは3月まで

必修

②フィールド
スタディ

現場の実情を体感する

①リレー
レクチャー

基礎を学べる

③ディスカッ
ションサロン

講師と直接話ができる

<アドバンスドコース>:6~9月頃>

必修

⑤インターン
シップ

実際に現場で関与する

④エキスパート
レクチャー

実践に直結する

②フィールド
スタディ
③ディスカッ
ションサロン

名刺やHPでの表記について ～～ぜひ掲載してください！

ベーシックコース修了者

地域公共交通コーディネーター(ベーシック) <修了証番号>

アドバンスドコース修了者

地域公共交通コーディネーター(アドバンスド) <修了証番号>

アドバンスドコース+インターンシップ修了者

地域公共交通プロデューサー(インターン) <修了証番号>

インターンシップ 「第2回上信電鉄沿線地域懇談会」

※本講座のプログラムです。事務局のメールアドレスへ参加表明してください。
インターンシップとしては原則3回出席ですが、スポットの傍聴も可能です。

<https://www.pref.gunma.jp/page/711517.html>

<高崎エリア>

2026年1月24日(土) 14時30分～16時30分
高崎市総合保健センター(高崎駅から徒歩・バス)

<富岡・甘楽エリア>
2026年1月26日(月) 9時50分～11時50分
富岡市水道会館(上州富岡駅から徒歩)

<下仁田・南牧エリア>
2026年1月26日(月) 15時00分～17時00分
下仁田町役場(下仁田駅から徒歩)

**こちらの申込受付は
終了いたしました
今後も新たな募集を
行ってまいります**

大都市都心でAIオンデマンド交通は なぜ継続できなかつたか? ～公共交通の今後を考えるシンポジウム～

※本講座の「ディスカッションサロン」として位置付けます。

- 名古屋市千種区の南西部で実証運行が行われていたAIオンデマンド運行バス「mobi(モビ)」が、昨年12月31日をもって運行終了となりました。
- 鉄道やバスでカバーできないところまで低料金で行くことで多くの利用がありましたが、運賃だけでは経費を賄えず継続ができませんでした。
- 今回の結果を踏まえ、大都市の中を細かくカバーする公共交通機関の可能性について、大いに議論します。

出演者 事業主体の担当者、地元住民代表、外部有識者(板谷和也先生<流通経済大>、神田佑亮先生<呉高専>)、加藤博和<名古屋大>

日時 1月25日(日)13:30~16:00(予定)

場所 名古屋大学鶴舞キャンパス(医学部・附属病院、鶴舞駅近く)
基礎研究棟(講義棟)4階第4講義室 ※実証運行地域にあります

大都市都心でAIオンデマンド交通はなぜ継続できなかったか？ ～公共交通の今後を考えるシンポジウム～

名古屋市千種区の南西部、千石・千種学区周辺で実証運行が行われていたAIオンデマンド運行バス「mobi（モビ）」が、2025年12月31日をもって運行終了となりました。

鉄道やバスでカバーできないところまでタクシーより低料金で行けることで多くの利用がありましたが、運賃だけでは経費を貯えず継続ができませんでした。

今回の結果を踏まえ、大都市の中を細かくカバーする公共交通機関の可能性についておおいに議論します。



Googleフォーム



申込は
こちら！

【会場アクセス】

基礎研究棟



日時 2026年1月25日(日)
13:30～16:00

会場 名古屋大学 鶴舞キャンパス
基礎研究棟（講義棟）4階
第4講義室

出演者（話題提供者・パネリスト）

- 加藤博和（名古屋大学）
- Community Mobility株式会社担当者
- 千石学区住民代表
- 外部有識者
板谷和也 教授（流通経済大学）
神田佑亮 教授（吳工業高等専門学校）

参加無料
申込は右上の二次元バーコードから

主催：名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

※本イベントは、令和7年度「『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」の助成を受け開催いたします。

お問い合わせ先：名古屋大学大学院環境学研究科 地域戦略研究室

E-mail : kato_lab@urban.env.nagoya-u.ac.jp ※メールでお問い合わせください

大都市都心でAIオンデマンド交通はなぜ継続できなかったか？ ～公共交通の今後を考えるシンポジウム～

名古屋市千種区の南西部、千石・千種学区周辺で実証運行が行われていたAIオンデマンド運行バス「mobi（モビ）」が、2025年12月31日をもって運行終了となりました。

鉄道やバスでカバーできないところまでタクシーより低料金で行けることで多くの利用がありましたが、運賃だけでは経費を貯えず継続ができませんでした。

今回の結果を踏まえ、大都市の中を細かくカバーする公共交通機関の可能性についておおいに議論します。



申込(Googleフォーム)



日時 2026年1月25日(日)
13:30～16:00

会場 名古屋大学 鶴舞キャンパス
基礎研究棟（講義棟）4階
第4講義室

<http://orient.genv.nagoya-u.ac.jp/sympo260125.htm>

電話やアプリで簡単に呼べる

乗合型移動サービス



① 定額乗り放題プラン

1人目

30日間 5,000円

家族

1ヶ月 500円 (+1人あたり)

② 回数券プラン

5回分

1,400円

8回分

2,100円

③ ワンタイムプラン

大人

1回 300円

子ども (6歳以上12歳未満)

1回 150円

幼児

1回 0円

サブスク(定額乗り放題)が基本

mobi (モビ) は、30日間5,000円でエリア内乗り放題の交通です。

アプリや電話でmobiを呼ぶと、お迎えにあがり、最適なルートを効率よく、あなたを目的地へとお送りします。

Community Mobility(株)
<Willer+KDDI>が提供する
オンデマンド乗合交通サービス
公的補助はない

名古屋市千種区千石・千種学区：
都市部で、運行エリアを2km四方にと
どめた

**乗合率や収支率は地方部より高いが、
運賃だけでは損益分岐点に達しない**

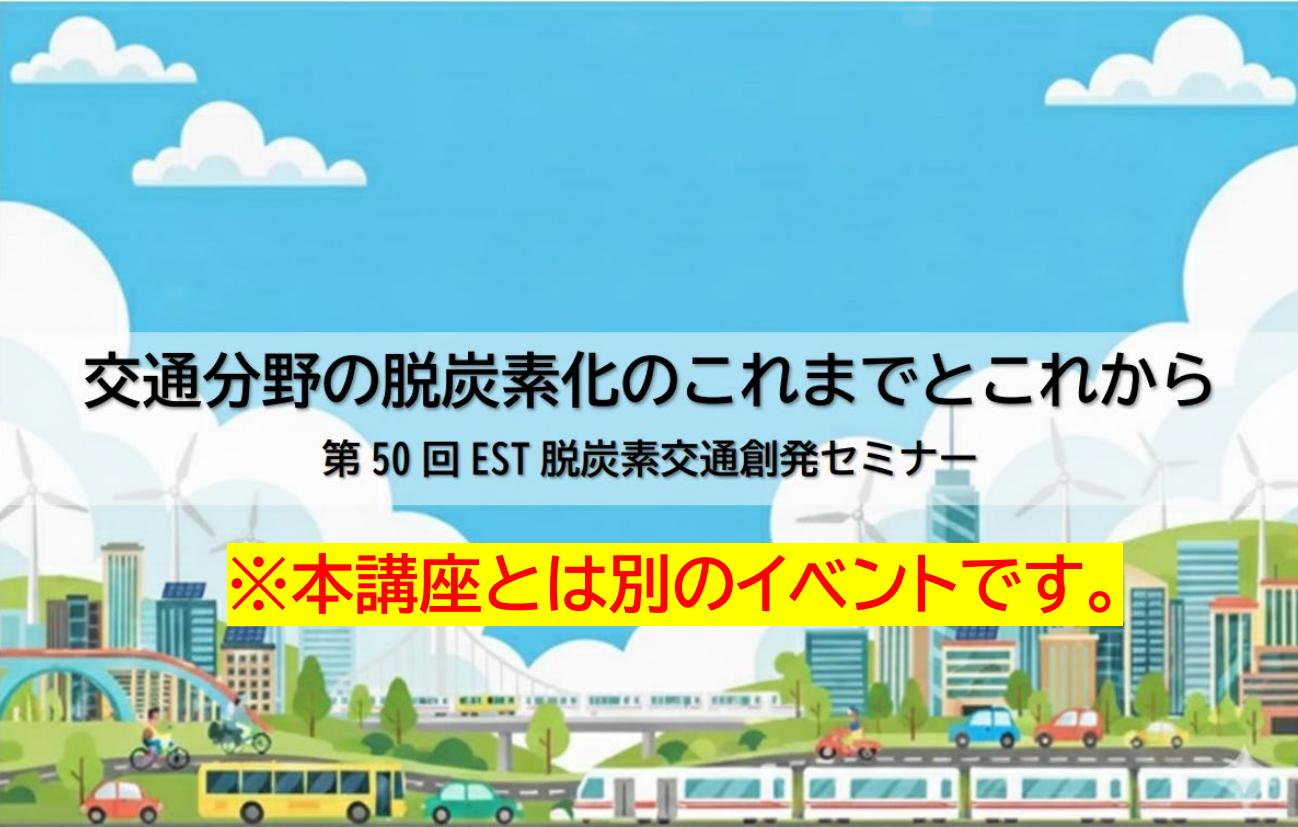
それでも、3年間の21条運行(実証実験)を経て、2024年12月6日から**4条乗合に移行**

2025年12月末廃止が決定(広告料・協賛金等が低調のため)

交通分野の脱炭素化のこれまでとこれから

第50回EST脱炭素交通創発セミナー

※本講座とは別のイベントです。



日 時：2026年2月16日(月)14:30～17:50 (14:00受付開始)

開催方法：会場対面及びオンライン配信(Youtube)

※オンライン配信のURLは申込者へ当日までにメール送信します。

対面会場：東京都立産業貿易センター浜松町館 4階第2会議室

〒105-7501 東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝

TEL 03-3434-4242

会場定員：60名（先着順）

主 催：EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

後 援：国土交通省



環境的に持続可能な交通

Environmentally Sustainable Transport

【プログラム】

14:30 開会挨拶 エコモ財団

14:35 趣旨説明 EST 普及推進委員会 委員長

(名古屋大学大学院環境学研究科 教授) 加藤 博和

14:45 基調講演 「まちづくりと交通計画の連携による脱炭素的交通政策推進の重要性」

一般社団法人グローカル交流推進機構 理事長 土井 勉

取組紹介1 「岐阜市の公共交通の取り組み(仮)」

第4回EST交通環境大賞 大賞(国土交通大臣賞)受賞 岐阜市

講演者：岐阜市都市建設部 交通政策課長 桐山 雅司

取組紹介2 「CO₂と渋滞の緩和を目指す福山都市圏『BEST運動』の継続」

第4回EST交通環境大賞 優秀賞受賞 福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会

講演者：福山市建設局都市部 都市交通課長 荒平 信行

取組紹介3 「ひたちBRTの導入から自動運転バスへの発展」

第5回EST交通環境大賞 優秀賞受賞 日立市

講演者：日立市都市建設部 都市政策課長 小山 博之

16:25 休憩

16:40 パネルディスカッション 「ESTそして交通脱炭素化の社会実装推進に何が必要か？」

(パネリスト) 一般社団法人グローカル交流推進機構 理事長 土井 勉

岐阜市都市建設部 交通政策課長 桐山 雅司

福山市建設局都市部 都市交通課長 荒平 信行

日立市都市建設部 都市政策課長 小山 博之

国土交通省(仮)

環境省(仮)

(コーディネーター)EST普及推進委員会 委員長 加藤 博和

17:50 閉会

※閉会後、会費制の交流会を開催します。希望者は申込時にご選択ください。(先着10名、5,000円程度)

【申し込み方法】

「環境的に持続可能な交通ESTポータルサイト」

<https://www.estfukyu.jp/sohatsu81.html>

お申し込みください。